



昨年9月21日よりスタートした、「下野新聞認知症カフェプロジェクト2020」は、本日で最終回を迎えます。今回の紙面では、くさか里樹先生のイラストと共に、読者の皆様やプロジェクトに携わった方々から頂いた、「下野新聞認知症カフェプロジェクト」や「認知症」に対するメッセージをご紹介します。(企画制作/下野新聞社営業局)

今までの下野新聞「認知症カフェプロジェクト」についてはこちら！



元教師 久保千代子 96歳 宇都宮市

人は好む好まざるに関係なく、何れかの病気で天寿を全うするのです。もしも認知症と診断されたら神の意志に従います。周りの人達は本人の体調を正しく受け止め、温かい心でお手伝いに努めましょう。今、世界の医師が特効薬の研究に必死に努力しています。1日も早い完成を祈り認知症に苦しむ人の為にあせらず温かい心で効果を期待し応援をします。

RUN伴栃木チーム那須 奥木美保 56歳 那須町

那須町の「みんなの居場所ゆつくりサロン」さんと「とちぎ認知症カフェ オンラインフェス」に参加しました。離れていても顔が見える、笑い声が聞こえる今回のチャレンジは、県内各地の方々との繋がりを感しました。いつか来るその時に「私、認知症なの。」そう気軽に言える地域になるように、今できることをやっていきたいです。

無職 H.S 69歳 宇都宮市

認知症。言葉が先行し、人々の理解は、家族や関係者を除き、まだ浅い。底辺を広げ、自然なバックアップが日常の地域への道は、まだ遠い。“地域で受け入れ、活動の場を与え、周囲の理解を深める”社会的処方を含め、誰もが処方者になり得る社会の実現への多角的な広報を、メディアに一層期待する。

カフェ運営スタッフ シーちゃん 63歳 宇都宮市

私は認知症と診断されています。家でひとりて居ることがほとんどです。サロンに来ると大勢の人に会えて楽しいです。まわりの人達が普通にしてくれるのがうれしいです。まだ普通にしてくれない人の方が多いですから。仲間と出来ることをやって、話しが出来るのが1番やりがいがあります。

長谷川和夫 92歳 南高まり 58歳 東京都

昨年は認知症カフェプロジェクトに参加させていただき有難うございました。父、長谷川和夫も認知症の診断を受けてからもう3年以上経ちます。今、介護を受けて1番居心地が良いと思うことは何?という質問に、上からでもなく下からでもない対等の会話だね、と申していました。皆様と結んでいたような心の絆が父の支えになっていると感じています。

地方公務員 福祉Pキノコ 55歳 栃木市

「自分には関係ない」という素人論と、「もしかしたら…」という不安が同居している「認知症」。この連載を通して感じたことは、認知症を我が事として捉え、特別なものでなく当たり前のこととして受け入れ、支え合う地域社会を作ることの大切さです。このことは、コロナ渦の中、今まさに求められているのだと思います。

夫を在宅サポート中 57歳 小山市

オンラインフェスで皆さんと過ごした時間は、「一緒に頑張ろう!」という思いが伝わり、改めて人と繋がる事の大切さを感じました。また、南高まりさんの「パーソナルケア」という言葉を目にして、夫が中心でなくていい、自分らしく寄り添えればいいんだと気持ちが軽くなりました。サポートを続ける家族へのエールの様に思えます。

宇賀神文恵 71歳 鹿沼市

姑も母も、最期は認知症でした。誰もがなり得る、そしていずれは自分もという不安をいつも持っていました。そんな時新聞の～忘れちゃってもわたしはわたし!オレはオレ!～というタイトルに、心が少し楽になりました。今、私が誰かに寄り添えたり、いつか年老いて誰かに支えてもらったり、そんなやさしい世の中、社会が普通になればと願います。

風のお父さん 58歳 佐野市

このプロジェクトを企画して頂いた下野新聞社やご協力頂いた方々にお礼申し上げます。私は認知症を患い3年になります。今は、地域のみんなの助けをおかりして、毎日「笑顔」で「一期一会」を大切に頑張っています。そして、出会った人たちはみんな家族だと思っています。同じ思っている人。一人じゃないよ。頑張ろう!ファミリーたち!

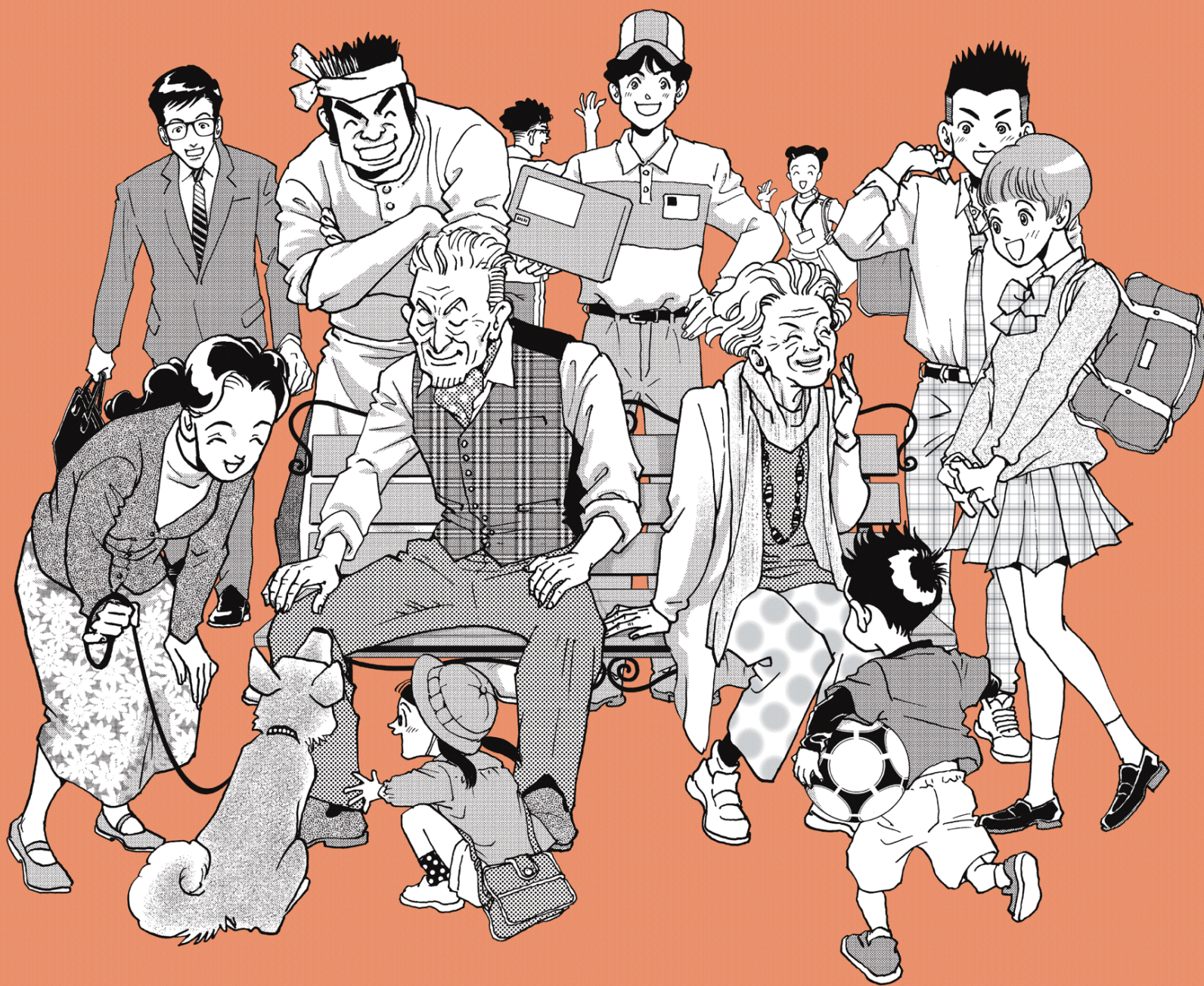
生活支援コーディネーター 夢沼友紀子 54歳 栃木県

想像してください。未来の自分を。わからないことが増え、落ち込み、不安になる自分。取り繕いながら苦しんでいる自分。家族にわからないことが増え、戸惑い、悲しみ、不安になる自分。そんな時、何気ない見守りが、さびけない声かけが、きっと自分を救ってくれるはず。この連載が、未来の自分が「自分らしく」生きられるような機会になって欲しい。

キッズサポーターAiri 11歳 真岡市

認知症の人は、ただ覚えていることが苦手になってしまっただけで、何も変わっていないと思います。誰にでも苦手なものはあります。苦手な事に対して「なんでできないの!」と言ったりすると、だれだって嫌な気持ちになります。だから、みんなが優しく接して、みんなが笑顔になれるようになればいいなと思いました。

忘れちゃっても わたしはわたし!オレはオレ!



わたしの一歩が無限の未来へ!

認知症地域支援推進員 伊藤はすき さくら市

「とちぎ認知症カフェオンラインフェス」では徐々に顔を合わせた仲間と笑顔を交わしながら新手法を活用し多くの認知症カフェ同士で情報交換ができ、とても参考になりました。自粛という不安に苛まれた環境の中で気持ちは落ち込みがちですが、試行錯誤しながら新たなコミュニティ手段でまた笑顔を取り戻したいです。

ふれあいの家代表 中野節子 79歳 芳賀郡茂木町

認知症はいつも話題になっていた。理由は私の身近な人が認知症となり、通院、治療を続けているから。病状は理解しているつもりでも上手く寄り添うことが出来ないもどかしさを感じていた時、「下野新聞認知症カフェプロジェクト」は幅広い関係者の登壇で興味深く読ませていただいた。特に第5回の南高まりさんの言葉は、これから共に生きていく「心のエール」になった。

石塚ケイ子 70歳 宇都宮市

母は認知症の診断を受け、日々の暮らしが少しずつ変わっていきます。これからどうなる、どうする、という疑問と不安でいっぱいの日が続きました。そんな時、身近な人たちの温かい寄り添いに、助けられました。そして同時に、様々な情報や社会全体の後押しが、大きな力になったものです。下野新聞の更なる後押し、期待しています。

看護学生 21歳 壬生町

私は現在、看護を学んでいる学生です。今まで何度か認知症カフェに参加しました。カフェでは、訪れる方々の笑顔が輝いていて、毎回カフェに来るのを楽しみにしているという声を多く耳にしました。私自身も、自分に何が出来るかを改めて考え、認知症の思いなどを聴ける貴重な機会であると感じています。そんなカフェを多くの人に知って欲しいです。

認知症カフェーち ボランティア 木島治代

この一年、私たちの生活が一変しました。今回の下野新聞の試みは、県内の他の活動や、取組を知る良い機会となりました。「認知症」をキーワードに、他に活動している、RUN伴のスタッフとも交流が出来、オンラインフェスの時は、機器の操作など担って頂き、心強く、助かりました。このような機会を更に広め深めていただきたいと思います。

Nさん 57歳 小山市

夫が認知症とわかった時、ただ忘れていく病気だという事以外、何も知識がありませんでした。この半年に渡って発信された「認知症カフェプロジェクト」の色々なメッセージが多くの方にとって認知症を知る、はしめの一歩になったらいなと思いました。

イラストを描いた
くさか里樹先生からのメッセージ



プロフィール

高知県生まれ。
1980年デビュー。代表作として、18年続いた「ケイリン野郎」(ケイリン野郎GP)(Judy 小学館)、「ハルプマン」(イブニング 講談社)「ハルプマン」(朝日新聞出版)など。「ハルプマン」で2011年度第40回日本漫画家協会賞大賞を受賞。

「支え上手」もすごいけど
「支えられ上手」は 達人の技だと
思うんです!
目指せ!「支え合い大国 日本」!

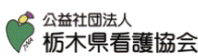
イラスト描かせていただき
ありがとうございます!! くさか 里樹

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。

協賛



企画協力



応援医療機関・応援介護老人福祉施設

足利赤十字病院 岩管内科脳神経外科医院 宇都宮第一病院 宇都宮リハビリテーション病院 皆藤病院 柏瀬眼科 烏山台病院 木村内科医院見龍堂クリニックかわせみ 見龍堂医療福祉総合クリニック 白澤病院 竹田内科小児科クリニック 長島医院 那須赤十字病院 那須中央病院 那須南病院 根本医院 芳賀赤十字病院 比企病院 深谷医院 村井クリニック 森クリニック グループホームかわせみ グループホームほのぼの グループホーム来夢 デイホーム風のさんぽ道 デイセンターさくら/デイホームさくらの家/よりいそいそデイさくら星の宮 パワーライフサポート よろずや三島の社/グループホーム安曇里 みしまの家

※五十音順(医療機関、介護老人福祉施設の順)

明治安田生命

MY WEBセミナー

認知症を知ろう!

誰もが「り患」する
可能性がある認知症を
医療面と経済面
二つの観点で
まとめ解説!

早くから
備えることの
大切さの

認知症の症状と診断
認知症の治療と予防



認知症に備えるお金
ファイナンシャルプランナー
山口 京子先生

パソコン・スマホで! 無料でご視聴いただけます

以下URLか二次元コードから特設サイトに入り視聴コードの入力で視聴できます!

https://www.meijiyasuda-future.jp/movie/dementia/ 視聴コード 123200



明治安田生命保険相互会社 宇都宮支社
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-1-5
明治安田生命宇都宮大通りビル4階
TEL.028-634-6223 担当:山科
二二00310業務

明治安田生命グループ

介護総合情報サイト

MY介護の広場



「MY介護の広場」は、ますます身近な問題となりつつある高齢者の介護について
●介護を受ける方 ●介護を考えるご家族の方 ●介護について学びたい方
それぞれのお立場にあったさまざまな情報・ツールを提供しています。

検索

MY 介護の広場

◎おすすめコンテンツ

◆認知症とは

認知症とは
認知について
分かりやすく解しています

https://www.my-kaigo.com/pub/individual/brousl/ca12/

◆よくわかる フレイル・サルコペニア予防シリーズ

よくわかる
フレイル・サルコペニア予防
シリーズ

https://www.mykaigo.com/pub/individual/byaui/furditud.

大人の「塗り絵」教室など、高齢者向けのレクリエーションコンテンツも充実しております。ぜひアクセスください!

「MY介護の広場」は、明治安田生命グループの明治安田システム・テクノロジー株式会社が運営しています。